ダールベリ先生と佐藤先生から学び考える“創造性”

学習院大学文学部
秋田喜代美

１　レッジョエミリからのインスピレーションと実践

・保育、幼児教育の理論と実践の哲学を探究するとは何かを、お二人が提示してくださった．魔法のような出会い　これを可能にしたのは.浅井幸子さんによるお二人の出会いの企画

学問の系譜によるつながりの大切さ

・問うということ。　　レッジョインスピレーションの拡がりの中でも単なる解説ではなく解釈し問うことをされているお二人の存在

・スウェーデンの３０年余　　１９８８年　ダールベリさんの仕事

日本　１９９８年　２００１年の展覧会　変化と共につながりあうことの喜び

・レッジョエミリアは、抵抗の学び。レジスタンスから新たな世界を生み出していく
　歓待の教育学　welcoming hospitality

・評価とドキュメンテーション

2　KEYWORD「驚きと創造性」

1）活動力能：火種をつけるもの　Vital　振動と生気　情動、生
　情動のパワーを意識や思考を超えたものとしてとらえる

2）能動態か受動態かをこえる「中動態」の在り方　二元論を超える育ちと教育の考え方
　つながり

3）Stern 、D.N.　主観的自己感　情動調律　　力動的な自己感の創出
　生気情動 dynamic vitality　　身体と　エコロジー　共振　共感覚　アクチュアル

「他者とともにいる感覚」が間主観的自己感の土台となり、人との関係性が維持される。

そしてさらに言語的自己感とナラティブ自己感が重なる。

いったん誕生した自己感は，生涯にわたって維持され，互いに他の自己感と力動的に関連し続けながら新たな自己感を創出していく。

4）反覆と出来事化：飽きないことは差異が見えること。今を生き、差異を感じる　ニュアンス
　生の研究者、創造者、探究者として、子どもも大人も、相互性の中で

驚きと審美性　教材文化研究財団保育部会報告書資料より
http://www.jfecr.or.jp/cms/zaidan/publication/pub-data/chosa/chosa782.pdf

3　ロダーリ「想像力、創造性、学校」の中でのデユーイの引用　『ファンタジーの文法』からP292

教師とは：アニメーターに変身する。創造活動のプロモーターとなる。

「対決すべき最初の現実、それは学校という共同体であり、みんないっしょにるという事実であり、いっしょにいって、いっしょに作業をするという形態である。」

Unworlding　　生成変化することを奪われている子どもたち

Sngularity

「このことをわきまえた学校では、子どもはもはや文化と価値の消費者として存在するのではなく、価値と文化の創造者であり生産者として存在する。」

出来事が生まれる関係性

美的振動

たいようはすてきなひーろーだ。だってこんなにきれいなはっぱをうみだしてくれて
きれいすぎで前にすすめないよ、 N

まちのこどもえん代々木公園
研究会発表資料より

４ これからにもとめられるものは何か？　実践の創造

・新たな教育、公共空間は、園、地域から始まる
そこにもとめられるのは創造性。世界創造
主流派ではつねにない。知ることではなくWEBのようなひろがり
創造性を解放すること。内側らか見る　二元的様式を超える。
そうした教育システムを作りだすことが私たちにいま求められる。
・そこにあるのは、すべてのこどもたちのための多様性と包摂性
そして審美的思考を味わい、生への信頼をもちつづける公共空間にむけて、
子どもの声に耳を傾けること　　教師に火種をつけるのは子どもや活動と越境のネットワーク
保護者ともつながること。
・実践者がいかにして内側から聴き取り実践の創造をおこなうことが可能なのか？
　創造と聴き取ること　それをつなぐものとしての対話と、変革し動き続けること